

受付	個人質問	第号
	令和年月日	時分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和7年11月14日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 富田えいじ

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>ながくての統計2024の解析及び本市の方向性について</p> <p>(1) まちづくりセンター利用状況について、令和5年度は1万2,656人である。令和6年度の利用者数は何人か。また、まちづくりセンターの設置目的は何か。</p> <p>(2) スマイルポイント登録申請者数について、令和5年度は850人である。ポイント交換者数は559人で、人数に差がある理由の一つとして、スタンプを集めること自体に楽しみを感じている方がいることも考えられ、費用対効果のある事業だと考える。事業総点検ではスマイルポイント制度の廃止が挙げられていたが、この点について市の見解はどのようか。</p> <p>(3) 令和6年4月1日現在の自治会加入率が、前年より全般的に減少している。その要因と対策は考えているか。</p> <p>(4) 日本の令和6年出生数は68万6,061人で、前年の72万7,288人からさらに減少しており、自然減は過去最大である。本市は人口の伸びはあるが、令和に入り、特に0歳から4歳の階級で、令和6年は前年から249人減少しており、今後も減少が続くと考える。本市は子どもの減少に対し、どのような対策をしているか。</p> <p>(5) 専業兼業別農家数について、令和2年の専業農家3戸、第1種兼業農家9戸、第2種兼業農家53戸とある。本市は今後何を重点的に増やすのか。増やすなら具体的な</p>	

	<p>対策はあるのか。</p> <p>(6) N-バス利用者数について、令和5年度の乗車人数は13万9,898人、有料乗車率は47.54%のことである。令和6年度は、乗車人数、有料乗車率はどのように変化したか。</p> <p>(7) 子ども医療対象者数について、令和5年度は前年度より約1,800人増加している。要因は何か。</p> <p>(8) 介護保険認定状況について、毎年100人程度増加している。どのような対策をしているか。</p> <p>(9) ごみ処理等状況について、年々ごみの量が減少している。以前もえるごみ袋の値上げの話があったが、現在どう考えているか。</p> <p>(10) 公有財産（土地）について、「その他」にはどのような土地が含まれているか。</p>	
--	--	--